

# ハ〜イ! 一歳です。

## 《 赤ちゃん募集中! 》

可愛いあなたのお子様を  
皆さんにご紹介しませんか?



赤ちゃんの顔がはつきり映った写真(画像データ)をお願いいたします。赤ちゃんのお名前(ふりがな)、住所一言PR、連絡先を書いたメモを新井区民活動センターまでお持ちください。

みんなで楽しもう!

# あらい地域ニュース

NO. 304 9月号

平成23年9月10日発行

発行 新井区民活動センター運営委員会  
編集 あらい地域ニュース編集委員会  
住所 中野区新井3-11-4  
電話 3389-1310 FAX 3389-1370  
メール [nakano\\_arai@eco.ocn.ne.jp](mailto:nakano_arai@eco.ocn.ne.jp)

# あらいまつい



2011年 10月15日(土)、16日(日)

場所: 新井区民活動センター

## 自宅で優雅なくつろぎを

2、3種類の豆を飲み比べ  
コーヒー講座

日時 10月15日(土)  
午前10時から11時30分  
場所 1階 調理室  
講師 折原烈男(オリハラコーヒー)  
参加費 300円  
定員 24名(先着) **参加者募集!**  
※申込みは9月12日(月)より受付。  
平日9時~17時まで会費持参の上、区民活動センター運営委員会事務局まで。  
問合せ 3389-1310



## 15日 オープニング

10時45分 **和太鼓**  
新井小和太鼓クラブ

## 15・16日 作品展開催

写真・絵画・絵手紙・版画・活花・押し花・編み物・パッチワーク等皆さんの力作をご覧ください。

## 16日 11時~16時

**音楽祭が始まります。**  
コーラス・エイサー・フォークダンス・吹奏楽・尺八・朗読等!



## 「世代を超えて、みんなで楽しもう!」 15日(土) 多目的室

ミニステージに **古今亭志ん吉** 登場!  
バルーンアート・似顔絵・手品や、昔懐かしの道具で遊ぶ、楽しい企画がいっぱい!

## ☆来場記念品も! (チラシをお持ちください)

☆中野の昔懐かしい写真や  
おまつりのスライドショー。

☆恒例のカレーライスやお茶会

☆フラバン、絵手紙、  
折り紙で遊ぼう!



今年、2年に一度の本祭りなので、18日(日)には、宮神輿が町内を回ります。屋根から台座まで総彫りの、とても美しいお神輿です。  
また、子どもたちは、各町会の子どもみこしに参加すると、お菓子などがもらえます。子ども用半纏(はなてん)の貸し出しもしています。出発時刻等は、各町会の神酒所(みきしょ)までお問い合わせください。



わっしょい! わっしょい! 皆で楽しく担ぎましょう!

とき 9月17日(土)・18日(日)

# 北野神社 「おまつり」

新井区民活動センターを利用している団体さんが中心となり、日ごろの練習の成果を披露いたします。今年、12団体。大正琴や日本舞踊、ハワイアン、お囃子、尺八、コーラスなどいろいろな演芸が催されます。  
是非、多くの皆様のご来場をお待ち申し上げております。



昨年の様子です。

# 敬老のついで 「芸能大会」

日時 9月14日(水)  
午後1時より午後4時まで  
場所 新井区民活動センター 多目的室  
入場無料

## 宮神輿巡行ルート

北野神社(11時出発)⇒中町会⇒北町会⇒西町会⇒南町会⇒東町会⇒中野通り横畠外科前5町会合同(4時30分)⇒北野神社  
※横畠前から北野神社宮入りが見どころです。

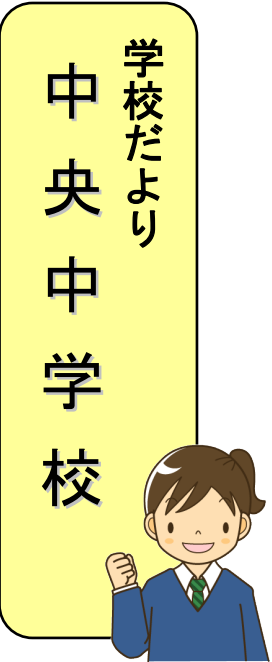
町会	神酒所
新井東町会	あいロード広場
新井西町会	ハイツダイヤフラワーズ駐車場
新井南町会	西武信金駐車場(中野北口)
新井北町会	新井小横
新井中町会	西武信金駐車場(薬師駅前)

- おはなし会  
(「おはなしの椅子」の皆さんによる)  
9月16日(金)  
10月21日(金)  
時間: 午後3時30分~4時  
場所: 新井小学校図書室
- 卓球教室  
(指導: 新井小PTA卓球サークル)  
9月30日(金)  
10月28日(金)  
時間: 午後3時~4時  
場所: 新井小学校体育館
- 新井小ふれあいまつり  
10月29日(土)  
場所: 新井薬師児童館  
詳しくは、後口発行するチラシをご覧ください。

## 児童館だより



あらいやくしじょうかん  
新井薬師児童館  
でんわ 3389-5438  
FAX 3389-5439



# 学校だより 中央中学校

## 地域でのボランティア活動

～被災地の中学生とライブトーク等～

東日本大震災のチャリティイベントとして、新井薬師梅照院にて5月29日(日)開催の第1回目に引き続き第2回目(7月31日(日))に開催されました。前回と同じく本校からは、吹奏楽部の皆さんが参加してイベントを盛り上げました。

また、福島県いわき市の湯本第二中学校の生徒の皆さんもイベントに駆け付け、本校の生徒12人と車座トークを通して意見交換を行うなど交流を深めました。お互いの3・11を語り合ったり、質問したりする中で湯本第二中学校の生徒の皆さんからは、風評被害が起きないように正しく見つめてほしいといった意見も出されました。被災地でのボランティア活動についてお互いに思いを語り合うなど、生徒の皆さん一人ひとりにとても貴重な体験になったことと思います。

7月28日(木)・29日(金)には、中野区役所の広場で行われた復興支援フェアで、本校の生徒の皆さんが延べ9人参加し、募金活動を行いました。

地域等、関係の皆様方には、本校の生徒の皆さんが地域で活躍できる機会を与えていただきましたことに改めて感謝申し上げます。

(校長 鳥海重年)



ライブトーク  
湯本第二中学校のみなさんと

## 防災講座、開催される!

～都市型地震の特徴を聞く～

新井区民活動センター運営委員会主催「いざその時のために、知っておくこと」という防災講座が7月7日に開かれました。

講師は、中野区防災・都市安全分野職員の方々です。東日本大震災(M9)と阪神淡路大震災(M7.3)を題材に、被災地の生々しい様子など、映像を見ながら、解説・コメントされました。

東日本大震災では、大津波による水死者が圧倒的に多く、阪神淡路大震災では、家屋等建物の倒壊による圧死と火災による焼死者が多かったようです。新井地区は、津波の心配はないでしょうが、阪神淡路大震災のような建物の倒壊による圧死・または火災が心配されます。とにかく、建物の耐震補強・家具の転倒防止をしっかりすることが命を守ります。

## ～家族の事が一番心配

事前に避難場所を決めておく

新井地域の避難所と広域避難場所は、表1のように指定されています。状況によっては指定以外の場所に避難することもありますので、警察官等の誘導にしたがってください。家族・知人と集合場所を打ち合わせておくことも大事です。

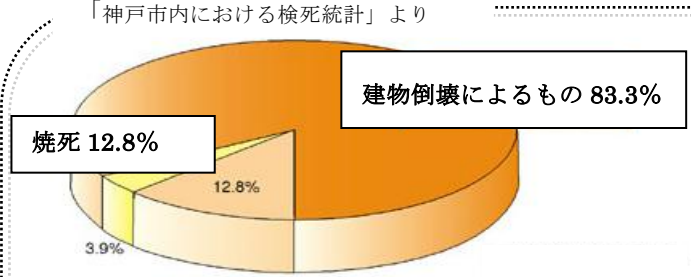
○避難所 震災時に地域の救援・救護活動の拠点となる場所。被災者の収容や物資・情報の提供等を行う。

○広域避難場所 火災の拡大などにより地域に危険になった時に避難する場所。



## 出来ることから用意しよう!

- 家具の転倒防止
  - 初期消火の備え
  - 水・食料の備蓄
  - 家庭での防災会議
- 平日頃から準備しておきましょう。
- 懐中電灯、非常食(3日分くらい)、飲料水、ラジオ、防寒着等



新井地域の避難所と広域避難所 表1

町会	避難所	広域避難場所
新井東町会	中央中	中野区役所一帯
新井西町会	中央中	平和の森公園一帯
新井南町会	中央中	中野区役所一帯
新井北町会	新井小	平和の森公園一帯
新井中町会	新井小	哲学堂公園一帯

## ～実際の場合は何もできない、

近隣の協力と日ごろの訓練が大事

後半では、参加者の方々を5つのグループに分け、ゲーム感覚の話し合いが行われました。例えば、避難途中で具合の悪い人を見つけたらどうするかなど、いくつかの具体例をあげて話し合いました。自分ならどうするか、みんな真剣に討議されました。

いつ地震が起きるか、誰にもわかりません。

先ずは、身の安全、家族の安全確認、あわてて急に外に飛び出さない。その後、初期消火。そして、日頃からの隣近所の方々のお付き合いが大切です。防災訓練などにも積極的に参加して、経験を積んでおくことも大切だと感じました。

(恒・越智)

## 余滴

### 新たなスタート

7月19日、新井区民活動センターが業務を開始した。いよいよ、新しい地域活動のスタートである。この制度は、「中野区基本構想」および「新しい中野10か年計画」に基づき、従来の地域センターの機能を見直し、再編するとともに、地域の自主的な地域活動をより進めようというねらいがある。

一昨年12月から新井区民活動センター運営委員会準備会が組織され様々な議論を重ねてきた。初めての制度導入で「準備会委員」の中には戸惑いや不安を感じるメンバーも多かった。中野区の担当者や喧々諤々の議論も行われた。ともあれ、紆余曲折はあったものの無事に業務開始の日を迎えたわけである。当初は何かと慣れないため利用者の方々には御不便をお掛けすることも多かろう。制度定着までのしばらくの間ご容赦をお願いしたい。

新井区民活動センター運営委員会は中野区から委託を受けて事務局員(新井の場合2名)を雇用し、地域事業(年5回程度)広報誌(あらい地域ニュース)の発行などの事業を行う。事務局員は、桜まつりやあらいまつりなど地域行事のサポートも行う。今後、新井の地域力向上に大きな戦力になるであろう。

さて、東日本大震災が起こり被災地からの様々な情報に接するにつけ、同じ地域に暮らす人々の絆の強さが、災害を乗り越える大きな力になるという事を改めて強く感じる。幸い新井のまちには長い年月をかけて培われた伝統と人材の力がある。

新井のまちに暮らす人々の絆を支える区民活動センターとなることを願ってやまない。

新井区民活動センター運営委員会  
広報部部长 濱本 敏典

次号は、11月10日発行予定です

